

施設長	園長	所長	記録者
玉田	杉山	村田	小黒

社会福祉法人駿河会 地域密着型サービス運営推進会議【薫科】

日時 令和4年 11月11日 13:30～14:00

会場 ラポーレ駿河相談室

出席者

施設長	玉田直文	地域代表	森朝世	こだま	小林由季
園長	杉山結子	地域代表	田中博子	嘉響	加藤真子
所長	村田雄二	地域包括	福島正義		

事務局

本日はお時間をいただきましてありがとうございます。

では、早速ですが駿河会の地域密着型サービス運営推進会議を始めたいと思います。

はじめの挨拶

玉田施設長

各担当からの報告もあると思いますが、ついこの間の台風について、特別養護老人ホーム晃の園も被害が出ています。場所によっては3・4cmほどの床上浸水がありましたが、職員総出の復旧作業にて被害を最小限に抑えることが出来ました。デイサービスについても当日に休業した以外はすぐに営業を再開することが出来たので、詳細については各担当からの報告を聞いて頂ければと思います。

事務局

本日の議題は令和4年度の上半期実績報告と、地域の取組について報告させていただきます。まず初めに、昨今のコロナウイルスに対する通所事業所の対応についてご報告させていただきます。

●新型コロナウイルス関連の報告

- ・職員のワクチン接種について
- ・感染対策委員会の定期開催
- ・感染状況について

●令和5年度に向けた準備

- ・ハラスメント対策の強化
- ・災害に対する業務継続計画（BCP）の策定
(9/24 台風による業務への影響)

●添付資料

※こだま・嘉響報告原稿

以上、通所事業所共通の近状についてご報告させていただきました。

それでは、ここからは こだま、嘉響の順で、各担当者から報告させていただきます。

こだま（小林） 添付書類参照

嘉響（加藤） 添付書類参照

- 事務局 以上、こだま、嘉響における令和4年度上半期実績の報告と地域の実情についてでした。各担当者は、もっとお話ししたい事があると思います。森さん、田中さん「こんなことを聞いてみたい」というような事はありますか？
- 田中委員 ケアマネさん宛に広報誌を作成するという事はとても良いことだと思います。私自身も様々な会議に出席することがありますが、資料があった方がわかりやすいので、事業所の魅力を伝えるのにそういった取り組みを行う事は良い活動だと思います。また、活動の内容についても、職員が用意した活動だけ続けるのではなくて、利用者さん主体の活動になることも良いことで、周りから“ありがとう”と言葉をかけられることが活動のモチベーションにつながっていくのではないかと思います。
- 森委員 それぞれのデイサービスの報告を受けて、利用者さん一人一人に対して、細やかに対応されているのが伝わってきました。また、活動を通して利用者さんと職員さんがお互いに“ありがとう”と声を掛け合ったりするのも良い雰囲気づくりになっているのではないかと思います。これからもこの調子でデイの運営を続けてもらえればと思います。
- 村田所長 市街地の方のデイサービスでは職員や利用者がコロナになることでクラスターが発生し、休業となった話も聞いています。そうなる利用者やその家族の生活バランスが崩れて大変な事態になるので、感染対策をしながら休業をすることなくデイを運営できたことは幸いでした。
- おわりの挨拶
杉山園長 特養の方でも、職員本人が新型コロナに感染するというよりも、その同居家族や知人が陽性になることで療養することになり、慢性的な人手不足になるケースが見られています。しかし、少ない人数の中でも、安全にサービス提供を継続できるよう工夫して対応することが出来ており、職員一人一人がwith コロナに対応してくれているのだと感心しています。また、デイサービスにおいては感染拡大することなく事業運営ができたことがとてもよかったと思います。これからも地域の方々からご意見を頂きながら、安全な運営に努めていきたいと思っています。
- 事務局 皆さま、様々なご意見ありがとうございました。これで会議を終了とさせていただきます。次回開催時は準備ができ次第ご連絡差し上げるように致します。本日はありがとうございました。

令和4年度 第1回地域密着型運営推進会議 嘉響上半期報告

開催日:令和4年11月11(金)

① 上半期報告

- ・利用者の要介護認定は事業対象者から要介護5。
- ・年齢層は68歳から100歳。
- ・新規利用は7名(要支援認定者が4名、要介護認定者が3名)

終結者は7名(要支援認定者2名、要介護認定者5名)。

終結の理由:死亡、他施設への移行など。

評価:前年度の上半期と比較すると、今までは事業対象者から要介護3までの比較的軽い介護度の方がいましたが、現在は介護度5の方までいます。ご家族の希望で介護度の変更申請を行った方や年齢や病気の進行が原因で介護度があがった方が目立ちます。また、介護施設への長期入居待ちをする方も増えました。

② 活動状況

今年度の嘉響は「嘉響の色を届けよう～やりたいことができるデイサービスを共に作る～」という目標を掲げて活動しています。

昨年活動目標であった利用者様のやりたいことやしたいことを嘉響で一緒に取り組み、一緒に満足度を確認し、活動の土台を強いものにしてきました。

今年は昨年の活動を踏まえて、さらに嘉響の活動を充実させるために考え、午後の活動は、身近にある新聞紙やペットボトルのフタ、ラップの芯などを使い、レクリレーションで使うゲームの道具を利用者様と一緒に手作りしていき、利用者様が考える新しいルールやアイデアが頭の体操に繋げ、手指の機能訓練も兼ねて活動してきました。利用者様からは「今日はこの前やったゲームが楽しかったからまたみんなでやろうよ!」という声をあげてくださる方も増え、一緒に活動を作り上げていくことが楽しさになり、それがデイに続けて通っていただける理由の一つでもあるのではないかと考えます。

また、昨年度は新型コロナの拡大で訪問して下さる機会が減ったケアマネジャーたちに対し、思うように広報活動ができずにいましたが、今年はコロナ禍でもできる広報方法を考えてきました。まずは今まで通り利用者様向けの発行に加えて、ケアマネジャー用の広報誌を新たに発行することにしました。ケアマネジャー用の広報誌には嘉響で取れる加算の話や実際に加算を選択して下さっている利用者様たちの効果、利用者様の声などを広報誌に入れることで、アピールに繋げていきました。また7月には広報誌を持って、新型コロナの状況を見ながら外部の居宅介護支援事業所に訪問し、嘉響の魅力についてお伝えしてきました。実際に直接ケアマネジャーからの意見も頂き、これからの嘉響の広報方法として取り入れていきたいと考えます。

地域密着推進会議

2022年11月11日

★令和4年度活動について

前年度は、一人一人のやりたいことに目を向け、活動に取り込むことができる様になりましたので、今年度は、『良い取り組みを今後につなげられるようになる』という目標で取り組んでいます。

日々の気づきをまとめる事により、良い援助を継続でき、利用者の状態維持につなげていきたいと思っています。職員の気づきをまとめることができました。今後は、ご家族やケアマネからの意見も取り入れていく予定です。別紙参照

また、2024年度には災害時BCPの義務化に向け、こだま独自のBCPの作成をしています。9月の台風被害もあり、改めて必要性を実感しています。

こだまのあるラポーレ駿河の建物、利用者や利用者宅にも、被害はありませんでしたが、道路状況が悪く、安全面を考え1日営業を中止しました。その後は、通常営業を行うことができました。

地震などで自宅に帰宅できないことを想定し、自分たちがどう動くか、必要な物品は何かをまとめています。

★上半期実績

	令和4年度	令和3年度上半期
一日平均	5.89名	6.37名
		(令和3年度年間 6.22名)
月請求件数	18件	21件
新規	5名	8名
終結	8名	10名

・利用者数

今年度も利用者が減少していますが、利用者一人の利用回数が増えてきています。

4月時点では、週4回利用は、1名でしたが、現時点では、4名に増加しています。

月請求件数の増加はあまり見られませんが、1日平均利用者数は増加傾向にあります。

利用回数が増加しているので、日々の活動がマンネリにならないよう、毎回楽しんで利用してもらえるように検討していきます。

- ・外部居宅からの紹介

前年度に引き続き、新規利用者の半数が外部居宅からの紹介がありました。今年度作成したこだまの強みの資料なども使い、外部居宅への営業も行っていきたいと思っています。

★地域に向けた活動

- ・地域清掃

こだま周辺の清掃は、利用者の状態の変化などにより、以前の様に定期的を実施することができなくなっていますが、状態に合わせて実施しています。

- ・ゴミ箱作り

地域清掃が思うようにできなくなり、何かできる事はないかと考えていたところ、晃の園では、新聞や広告でゴミ箱づくりを使用している事を知り、利用者と広告を折り、届けています。

日常の活動で洗濯物たたみを実施している時に、「もっとないの？」などと声が聞かれました。こだまに来て、何かお手伝いをするのが楽しみになっている方もいるので、役割を持てるような活動を増やしていきたいと思っています。

★その他

職員や職員家族が陽性になり、自宅待機・療養することがありました。こだまの営業にかかわる事として、陽性となった職員が1日出勤していた為、当日利用していた方には、拡大防止の為、1週間利用を中止してもらい、自宅で様子を見てもらうことがありましたが、幸いに利用者が陽性になった報告はありませんでした。

今後も、マスクの着用、換気、清掃を継続していき、感染防止に努めていきます。

少人数制 定員 12名 介護職員 5名
家庭的な雰囲気の中、
のんびり・ゆっくり過ごせます。
少人数で地元の話や昔の話ができる為
初めての方でもたらくさんコミュニケー
ションがとれます◎



恵まれた環境

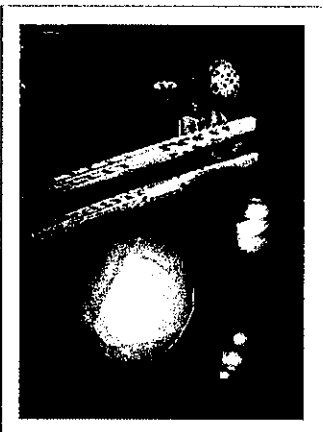
デイサービス内も広いスペースがあり
ますが、ケアハウス内も散歩可能。
天気の良い日には、季節を感じながら
屋外散歩もできます。



デイサービスセンターごだま



ケアハウスラポール駿河に併設されています。



個別対応

会話の中で一人一人のやりたい事、得意
な事を見つけ、個別に活動を提供しま
す。また、食事面でも形態やペースを考
えて、利用者さんの状態に合わせた食事
ができます。



職員の支援力

職員の個性を活かし
共に楽しい時間を過ごします。
介護経験が長い職員がいる為、
本人やご家族の要望に合った対応
をすることができます！